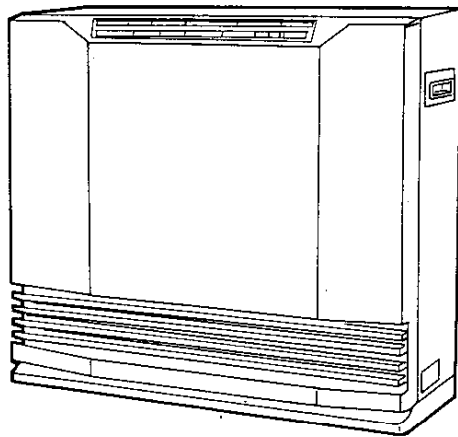




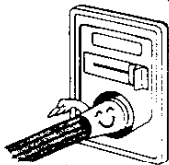
ガスファンヒーター 取扱説明書

保証書付

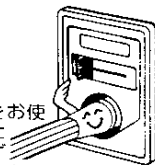
コード番号	型 式 名
43-728	GS-22ADFH
43-928	GS-22ATFH GS-22ATFHZ
43-729	GS-30ADFH
43-929	GS-30ATFH GS-30ATFHZ



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具をお使
いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



換気必要

30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

も く じ

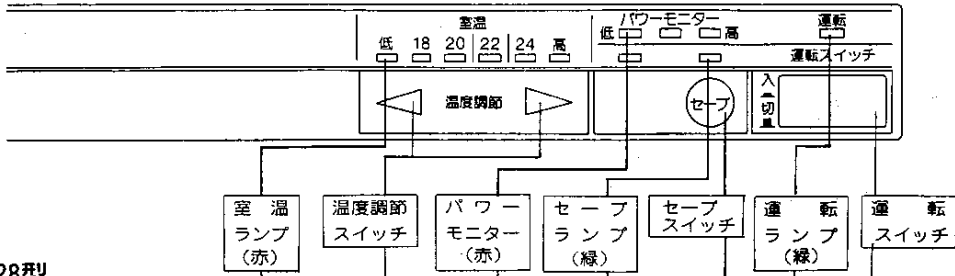
●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●器具の設置	8
●使用手順	10
●使用時のご注意 (安全装置が作動したときの処置方法)	16
●日常の点検・手入れ	18
●故障・異常の見分け方と処置方法	20
●長期間使用しない場合	21
●アフターサービスのお申し込み	22
●特長	23
●寸法図と仕様一覧表	24

換気にご注意

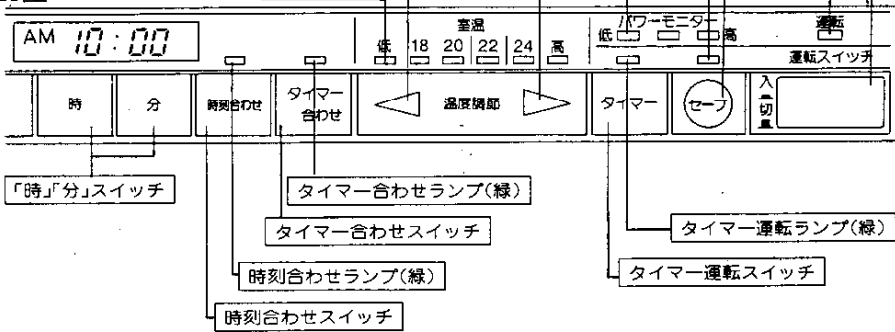
この器具は、強制給排気式（FF式）では
ありませんので換気が必要です。

各部の名称

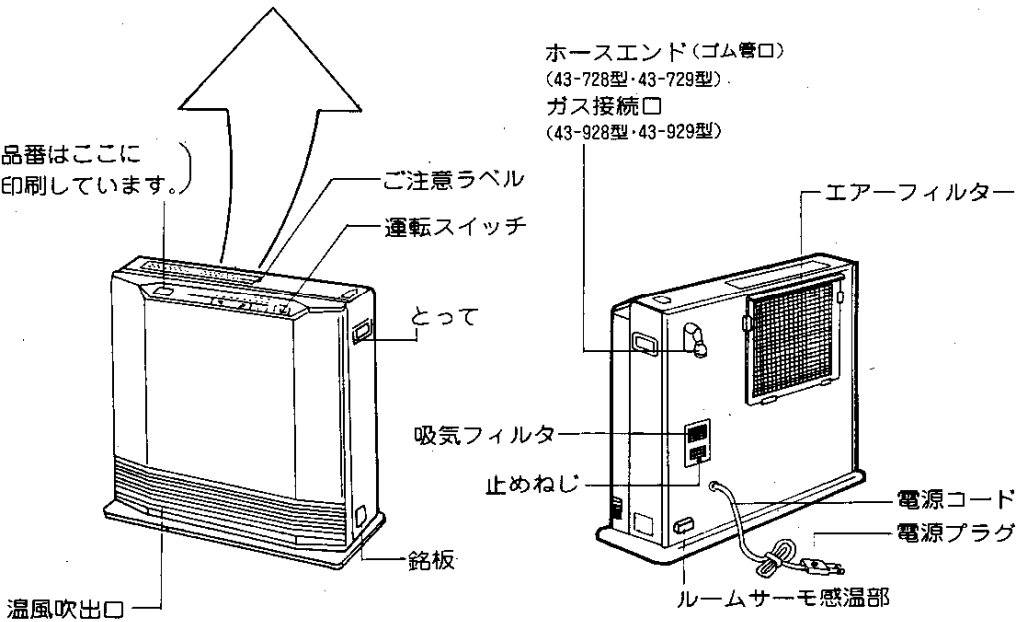
43-728型
43-729型



43-928型
43-929型



(品番はここに
印刷しています。)



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガス・使用電源についてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

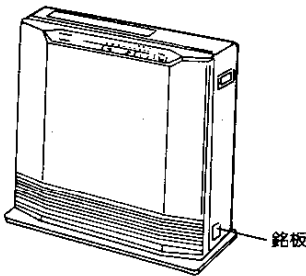


図43-728

【ガスの確認】

☆CHP	
定格電圧100V	定格消費電力30W
定格周波数60Hz	
ガストーブ	
型式名 GS-22ADFH	
(都市ガス用)	
ガス区分	113A
ガス消費量 (kcal/h)	2200
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社	

【電源の確認】

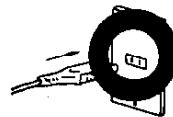
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具は交流100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

- 転居されたときにも、ガスの種類、電源周波数の一致を必ず

確かめてください。部品の交換や調整が必要となる場合があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。



100V



200V 高圧

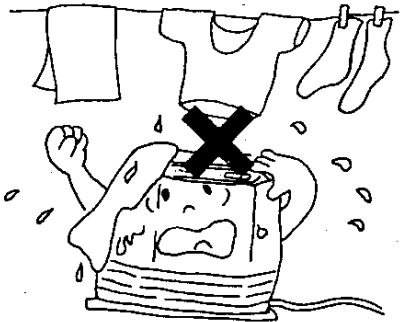
用途についてのご注意

- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。

衣類などが落下して器具に触れますと、火災になる危険があります。

- 衣類などを器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。

衣類などが温風吹出口やエアフィルターをふさぎ器具内に熱がこもり、大変危険です。

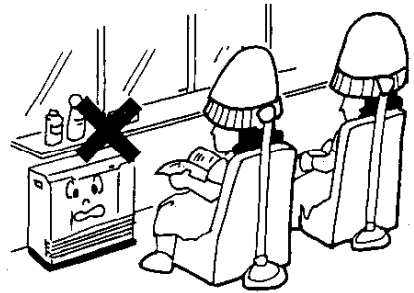


特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

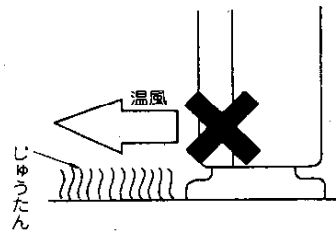
- 理・美容院、メッキ、塗装工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。

器具の故障や、腐食性ガスの発生により鏡・ガラスなどを傷める原因になります。

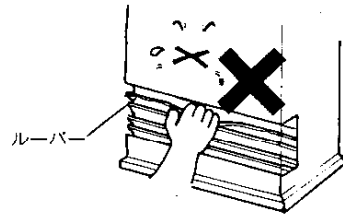


- 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いて水平にしてください。

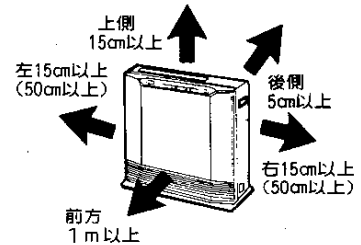
温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。



- 温風吹出口ルーバーの角度は変えないでください。温風が床材にあたり、変色するおそれがあります。



- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。(右図参照) 家具・建具などの障害物のない位置を選んでください。



- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で消えることがあります。換気するときにも、強い風があたらないようご注意ください。



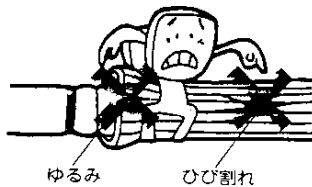
特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

ガス漏れ予防

43-728型 (タイマーなし)
43-729型

- ゴム管は内径9.5mmのガス用ゴム管または、ガスコード(13A専用)を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。



43-928型 (タイマー付き)
43-929型

- ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のガスコード(13A地区)、(LP地区)または強化ガスホース(6C、6A地区)をお使いください。
- 一般のガス用ゴム管やガスコード・ビニル管は使用できません。

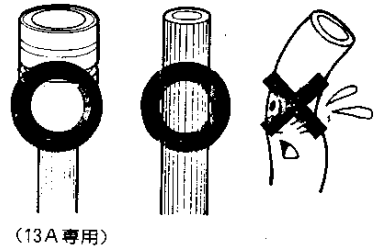
13A地区	ガスコード(着脱式)
6C・6A地区	強化ガスホース
LP地区	ガスコード(固定式)

- 使用後は必ず運転スイッチを切り消したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉めてください。(タイマー運転時はこの限りではありません。)
- 外出・就寝時には、必ず消火してください。

タイマー運転による自動消火

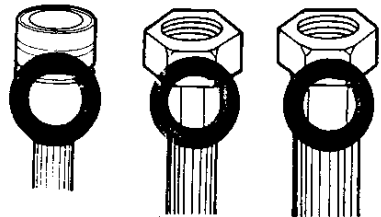
- タイマーで燃焼を開始してから約1時間経過すると自動的に消火します。詳細は15ページを参照してください。

ガスコード ガス用ゴム管 ビニル管

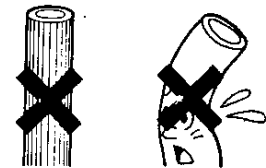


(13A専用)

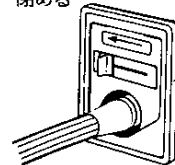
ガスコード (13A地区) ガスコード (LP地区) 強化ガスホース



ガス用ゴム管 ビニル管



閉める

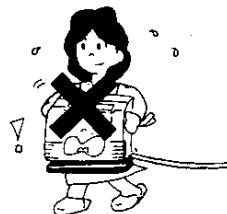
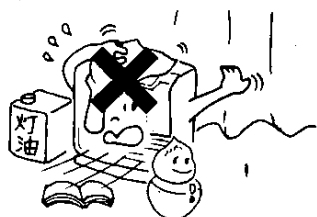
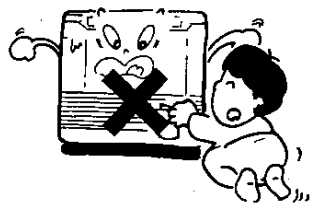


ガス元せん

特に注意していただきたいこと④

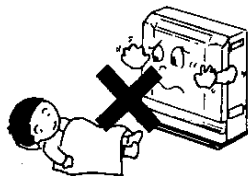
火災予防

- 紙・布・異物などを温風吹出口やエアフィルターの中に入れてたり、ふさいだりしないでください。
火災や、器具の異常過熱の危険があります。
- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。またカーテンや衣類などを温風吹出口に近づけないでください。
異常過熱や火災の危険があります。
- ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。
炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。
- 火をつけたまま、持ち運ばないでください。
ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。
- 火をつけたまま、外出・就寝は絶対にしないでください。



やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。
特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。
低い温度でも長時間温風にあたりますとやけどの危険があります。
- 小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。
- 器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。
やけどや器具が変形するおそれがあります。

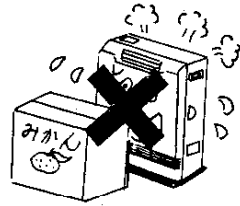


特に注意していただきたいこと⑤

過熱防止

- 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアフィルター部および吸気フィルター部）をふさいだりしないでください。

異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。

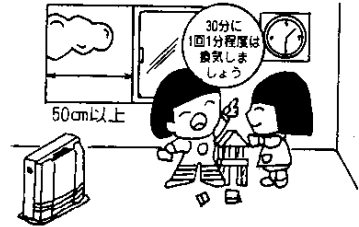


ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

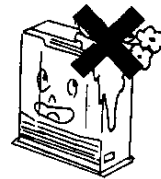
換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。



水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花瓶をのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転スイッチを切り、ガス元せんを閉める）十分な点検をお願いします。

〔故障・異常の見分け方と処置方法については20ページをお読みください。〕

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。
（詳しくは18ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

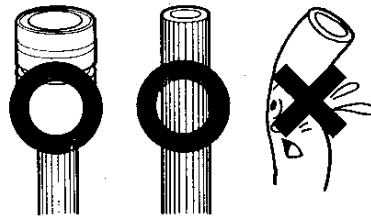
使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、4ページの「使用場所についてのご注意」をお読みください。

ガスの接続 43-728型・43-729型

- ゴム管は内径9.5mmのガス用ゴム管または、ガスコードを使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。

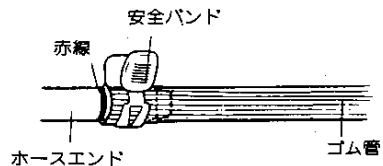
ガスコード ガス用ゴム管 ビニル管



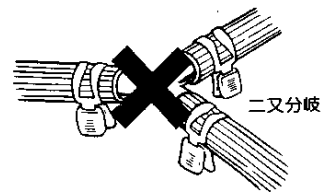
(13A専用)

- ガスコード(強化型小口径ガスホース)は13A器具のみ使用可能です。

- ゴム管はホースエンドの赤線まで差し込み、安全バンドでしっかり止めてください。短め(3m以内)で使用し、折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようしてください。また、器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにして使用してください。

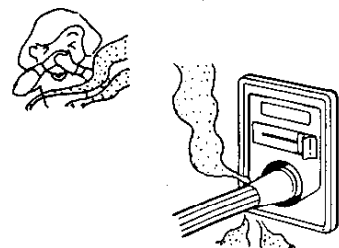


- ゴム管の継ぎたしや、二又分岐は行なわないでください。



- ゴム管は他のお部屋から使用するお部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。

- ゴム管は良質のものを買い、使用3年位を目安にとりかえてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。



- ゴム管の器具接続やガス元せん接続に「カチット」を接続すれば接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。

器具の設置②

ガスの接続 43-928型・43-929型

- ガスの接続は、必ず大阪ガス指定のガスコード
(13A地区)〈LP地区〉または強化ガスホース
(6C、6A地区)をお使いください。

ガスコード
(13A地区)



ガスコード
(LP地区)



強化ガスホース



一般のガス用ゴム管やビニル管は使用できません。

13A地区	ガスコード(着脱式)
6C・6A地区	強化ガスホース
LP地区	ガスコード(固定式)

ガス用ゴム管



ビニル管

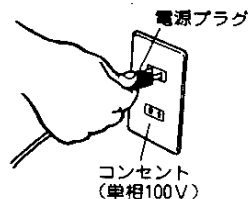


<ご注意>

- ガスコードや強化ガスホースの継ぎたし等はしないでください。
- ガスコードや強化ガスホースは器具に触れたり、器具の下を通したりしないようにしてください。
- ガスコードや強化ガスホースは他のお部屋から使用するお部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- 強化ガスホースやガスコード(LP専用)の器具への取付けは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。

電源の接続

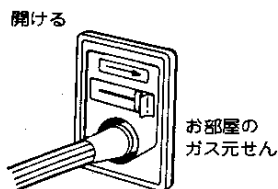
運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



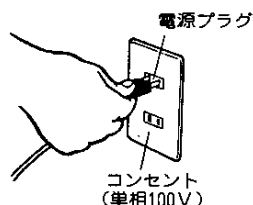
使用手順

点火前の準備と確認

- 運転スイッチが「切」の位置にあることを確認したのち、お部屋のガス元せんを全開してください。



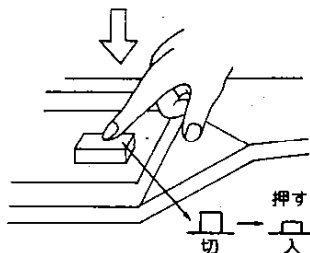
- 電源プラグをコンセント(单相100V)に差し込んでください。



点 火

運転スイッチを「入」にしてください。
「5～10秒」で点火し、「パワーモニター」■ ■ ■ が点灯します。

- 運転ランプは運転スイッチを「入」にすると、燃焼しないにもかかわらず点灯し、温風吹出口から風が出ます。
- 燃焼すると、「パワーモニター」■ ■ ■ が、点灯します。
- はじめて使用するときや、しばらく使わなかったときは、ガス配管内に空気が入って点火しにくいことがあります。このときは、「パワーモニター」■ ■ ■ が点滅しますので、2～3回点火操作をくり返してください。



パワーモニター
低 □ □ □ 高

↓ しばらくすると
(5～10秒)

パワーモニター
低 ■ ■ ■ 高

- 暖房運転の開始
点火後、1分程して、ルームサーモ(室温調節器)の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。

器具の運転状態により、パワーモニターは次のような表示になります。

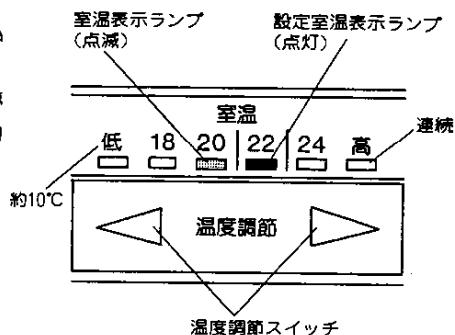
運 転 状 態	パワーモニター	対 流 フ ァ ン
強 燃 焼	■ ■ ■	強 回 転
比 例 燃 焼	■ ■ □	比 例 回 転
弱 燃 焼	■ □ □	弱 回 転
燃 焼 停 止	□ □ □	約2分間程回転した後停止

使用手順②

温度調節

一度セットした設定室温は、マイコンが記憶しています。

ただし、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した時は設定室温は解除され、再通电後は自動的に「22」となります。



設定された室温は設定室温表示ランプが点灯して表示します。

温度調節スイッチ「◀(さげる)、▶(あげる)」を押し、お好みの室温に設定してください。

ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「強燃焼」、「比例燃焼」、「弱燃焼」、「燃焼停止」の切り替えで自動的に室温をほぼ一定に保ちます。

- 室温は、室温表示ランプが点滅して、お知らせします。
器具の設置条件(すきま風、直射日光など)によって室温表示ランプと室温が多少ずれることがあります。

<ご注意>

- 設定温度と室温が一致した場合、ランプは連続点灯します。
- 室温が設定室温より高い場合点火操作をすると運転ランプと「パワーモニター」が点灯しますが約1分後に「パワーモニター」は消灯し、燃焼が停止します。この時温度調節スイッチを押して室温設定を高温度側にすれば燃焼します。

セーブ運転

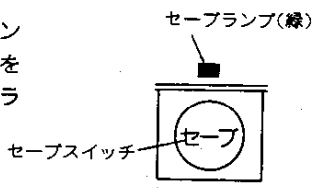
セーブ運転とは：自動的に少しずつ室温を下げて省エネに役立ちます。

(設定室温までお部屋があたたまった後、2℃(30分に1℃ずつ)
設定室温を下げます。この時設定室温表示ランプは変化しません。)

セーブ運転解除は「セーブ」スイッチを押してください。セーブランプが消えます。

<ご注意>

- 設定温度が「高」の場合は、セーブ運転は働きません。
- セーブ運転中に室温が設定室温に達して室温表示ランプが連続点灯の状態になった後、温度調節スイッチを押して設定室温を高くしても、約5分間は室温表示ランプは点滅しません。

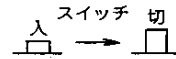
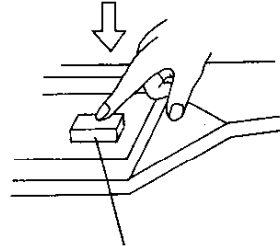


使用手順③

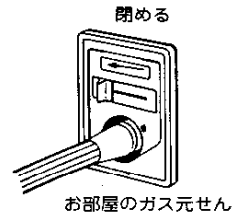
消 火

運転スイッチを「切」にしてください。
消火し、「パワーモニター」□□□が消えます。

- 運転スイッチを「切」にしても、数分間、温風吹出口から風が出続けることがあります。
器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。
器具の故障の原因となります。
- 燃焼中運転スイッチを「入」にしたままで、お部屋のガス元せんの操作による消火はしないでください。
- 運転スイッチを「入」にしたままで、電源プラグの引き抜きによる消火は行なわないでください。
器具内の温度が上がり、故障の原因となります。



- ご使用後は、必ずお部屋のガス元せんを閉めてください。



<ご注意>

- 消火後の再点火
消火後再び運転される場合は、消火後、約1分間は点火操作をしても点火しない場合があります。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。再点火時に「ポッ」と音がすることがありますが、異常ではありません。
- 点火したあとやルームサーモ(室温調節器)が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

停電時の処置

- 停電時の処置
停電になったときは、運転スイッチを「切」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。
- 再使用されるときは、10ページの「点火」の順序で操作を行なってください。

<ご注意>

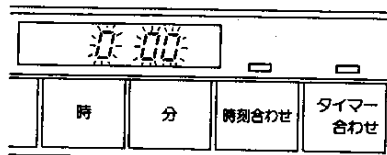
使用中停電になったときは、対流ファンが止まるため、器体上部が過熱しますので、器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱を防ぎます。)
お留守の時、停電があれば時計表示は「0:00」の点滅表示をします。


使用手順④

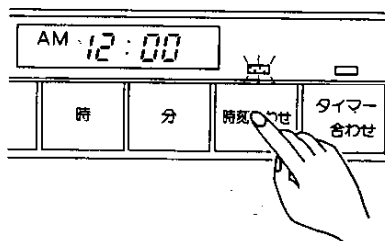
タイマー運転の方法 43-928型・43-929型

時刻合わせの方法

- 1 電源プラグをコンセントに差し込んだ場合時計表示は「0 00」の点滅表示をします。

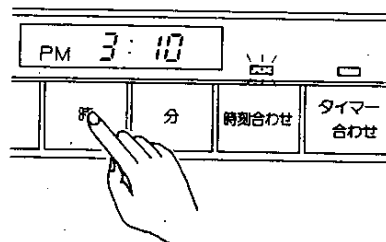



- 2 「時刻合わせ」スイッチを押してください。
時刻合わせランプ  が点滅します。
時刻表示は「AM 12:00」を表示します。

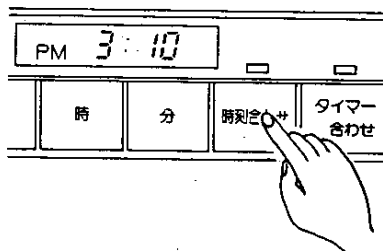


- 3 時刻合わせの「時」「分」スイッチを押して現在の時刻に合わせてください。


- たとえば現在時刻が午後3時10分の時は「時」スイッチを押してPM3:00にします。次に「分」スイッチを押してPM3:10にします。
(AM・PMを確認してください)
- 「時」・「分」スイッチを1秒以上押しつづけると表示が連続してかわります。



- 4 時刻合わせが終われば、再び「時刻合わせ」スイッチを押して、時刻合わせランプ  の点滅を消してください。




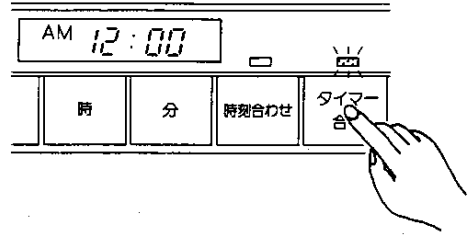
<ご注意>

- 時刻合わせランプ  が点滅したままですと、時計は動きません。

使用手順⑤

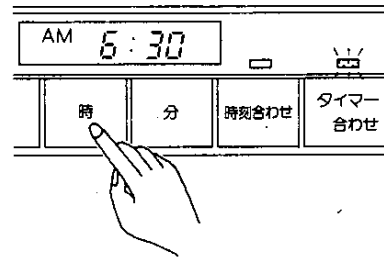
タイマー運転の方法


- 1** 「タイマー合わせ」スイッチを押してください。
タイマー合せランプ  が点滅します。
時刻表示は「AM 12:00」を表示します。





- 2** 「時」「分」スイッチを押してご希望の運転開始の時刻に合わせてください。

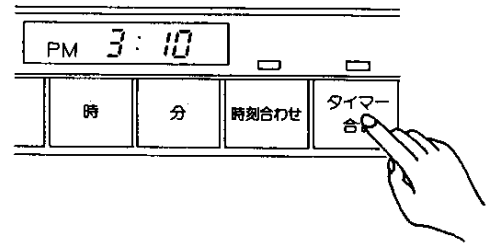
- たとえば午前6時30分に点火したい時は「時」スイッチを押してAM5:00にします。次に「分」スイッチを押してAM5:30にします。
タイマーのAM・PMを確認してください。



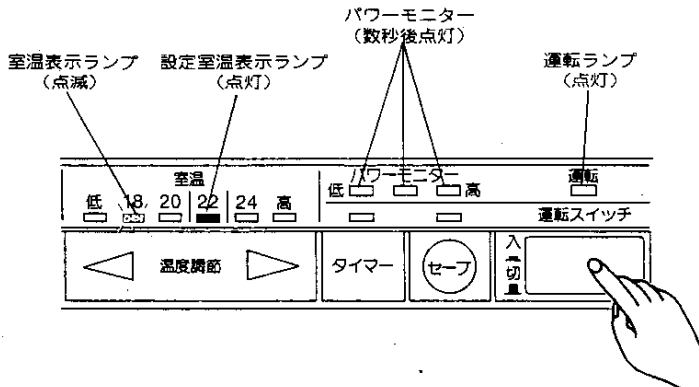
- 3** タイマー合わせが終れば再び「タイマー合わせ」スイッチを押して、タイマー合せランプ  の点滅を消してください。

<ご注意>

タイマー合せランプ  の点滅が消えると時計表示は、現在時刻にもどります。
タイマー合せランプ  が点滅したままですと、タイマー運転はできません。



- 4** 運転スイッチを「入」にしてください。

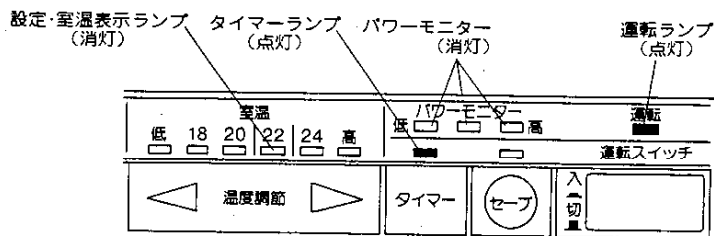


<ご注意>

タイマー運転時は設定室温は自動的に22℃設定になります。
(22℃以外に設定はできません。)

使用手順⑥


5 「タイマー」スイッチを押してください。




燃焼はいったん停止します。以上の操作でタイマー運転の準備完了です。ガス元せんは「開」、運転スイッチは「入」のままにしておいてください。

6 設定時刻になると、燃焼を開始します。

<ご注意>

タイマーで燃焼を開始して約1時間経過すると、自動的に消火します。これは、危険防止のためです。この時、タイマーランプ  が点滅します。再点火は運転スイッチを1度「切」にしてから再度「入」にしてください。





1時間以上連続して使用したい時は、タイマーで燃焼を開始してから、1時間以内に「タイマー」スイッチを押してください。タイマーランプ  が消え、通常運転にもどります。

7 一度セットしたタイマー時刻は、マイコンが記憶しています。



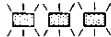
- 設定時刻を変更したい時は、再度「タイマー運転」にしたがって、やりなおしてください。

<ご注意>

- 電源プラグをコンセントから抜き差ししたとき、停電後再通電したときは「時刻合わせ」(13ページ)の項から、やりなおしてください。
- タイマー運転中に強い地震、強い衝撃があったときは、パワーモニターランプ  が点滅し、タイマー運転しない場合があります。この時は再度運転スイッチを入れなおし、「タイマー」スイッチを押してください。
- 時刻合わせをしないとタイマー運転はできません。
- タイマー運転時は、必ずお部屋のガス元せんを開けておいてください。
- タイマー運転中、器具前方に障害物があると近接センサーが働いて器具の燃焼をとめ、パワーモニター  が点滅します。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

安全装置	働 き	安全装置作動時の表示	
		運 転 ラ ンプ	パ ワー モニ ター
過熱防止装置 (バイメタルスイッチ)	エアフィルターや吸気フィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火します。		
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。	■点灯	 点滅
消火センサー (安全装置)	使用中にバーナが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。		
転倒時ガス遮断装置	器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。		
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。	■点灯	□ □ □ 消灯
逆火時安全装置	使用中にバーナが逆火した場合に温度ヒューズが切れて消火します。		
電流ヒューズ	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。	□消灯	□ □ □ 消灯
停電安全装置	安全装置が作動し、運転を停止します。停電後、自動的に再通電されても再点火しません。	(停電) □ (消灯) (再通電)  (点滅)	□ □ □ 消灯
近接センサー (43-928型、43-929型)	タイマー運転中器具前方に障害物があると燃焼停止します	■点灯	 点滅
ファンコントローラ (送風制御装置)	運転スイッチを「切」にしたあとも器具を冷却するまでファンを回転させる。	□消灯	□ □ □ 消灯

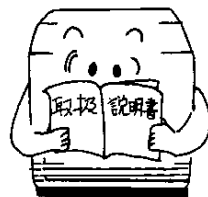
原因	処置方法
<p>エアフィルターや吸気フィルターが目づまりしている。 温風吹出口に障害物がある。</p>	<p>エアフィルター及び吸気フィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5~6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)</p>
<p>ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアフィルターや吸気フィルターがつまっても同様です。</p>	<p>十分部屋の換気を行ないエアフィルター及び吸気フィルター部の掃除をおこなった後再点火してください。</p>
<p>ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。</p>	<p>点検後、再点火してください。</p>
<p>点火したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。</p>	<p>いったん運転スイッチを「切」にもどし再点火してください。</p>
<p>異常過熱状態になった。 バーナに異常が起きた。 電気回路がショートした。</p>	<p>器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。</p>
<p>停電した。</p>	<p>停電中は必ず運転スイッチを「切」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。 12ページの「停電時の処置」をお読みください。</p>
<p>器具前方に障害物がある。</p>	<p>前方の障害物を取りのぞき再点火する。 (毛足の長いじゅうたんの上に設置されたり器具にタオル等がかかっている場合は近接センサーは働きません。)</p>
	<p>器具を消火する時必ず働く安全装置です処置する必要はありません。</p>

〈ご注意〉安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

日常の点検・手入れ

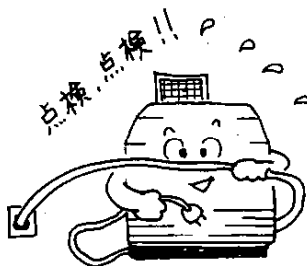
点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。
- 点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、お部屋のガス元せんを閉め、必ず電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
- 点検で異常を見つけれたら、20ページの **故障・異常の見分け方と処置方法** を参照してください。
- 器具内部(安全装置、電気部品およびガスの通路部分)は絶対に分解しないでください。



点 検

- 43-728型 43-729型
ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んでいますか。
- 43-928型 43-929型
ガスコードや、強化ガスホースは、お部屋のガス元せんに、きちんと差し込んでありますか。
- 器具のまわりや温風吹出口の付近に燃えやすいものはありませんか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の下や、エアフィルター・温風吹出口・吸気フィルターなどに、ほこりなどがたまっていませんか。

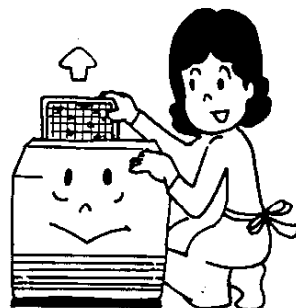


お手入れ

エアフィルターのお手入れ

1週間に1回以上は、次の手順で必ず掃除してください。ほこりなどがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりか異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

- ①エアフィルターは器具の背面にあり、上方にスライドして引き抜いてください。

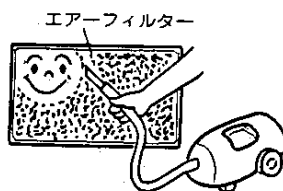


日常の点検・手入れ②

②エアフィルターの表・裏のほこりを電気掃除機などでよく掃除してください。

油などで特に汚れた場合は、洗剤で手早く洗い、水気をよくはらってから充分に乾燥させてください。

掃除が終わりましたら、「きちん」とさし込んでください。

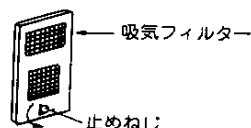


吸気フィルターのお手入れ

吸気フィルターは止めねじを外すと簡単に外れます。

エアフィルターと同じ要領で掃除してください。

- 1週間に1回以上はエアフィルターと同様に、吸気フィルターのほこりなどを電気掃除機などで、よく掃除してください。吸気フィルターにほこりなどが多量に付着すると、室温調節器や室温表示ランプが正確に働かないことがあります。

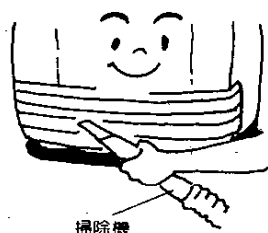


温風吹出口のお手入れ

- 1ヶ月に1回以上は、温風吹出口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。

この場合、必ず対流用ファンが止まってから行なってください。

- 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。
- 温風吹出口のルーバーは可変式ではありません。無理に角度を変えて使用しないでください。床材(クッションフロア等)がこげたり、器具の故障の原因となり、危険です。

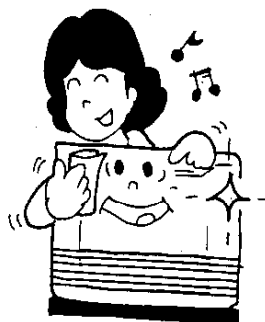


器具外装のお手入れ

- 本体ケースや、温風吹出口などが、ほこりなどで汚れたときは布などでふき取ってください。

- 化学ぞうきんやベンジンやシンナーなどでふかないでください。

塗装がハゲたり、色があせたりします。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	処置方法							参照ページ	
	運転ランプが点灯しない(緑色)	スパーク音がしない	点炎しにくい 点炎しない(パワーモニターが点灯しない) (赤色)	ガスの臭いがする	使用中に消火する	(消えてしまふ) 異常な音をたてる	部屋の暖まりが悪い		
電源プラグが差し込んでない	○	○	○					電源プラグを確実に差し込む	9
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分			○	○	○		○	ガス元せんを全開にする	10
ゴム管内に空気が残っている			○	○				点火操作をくり返してください	10
ゴム管の接続が不完全				○	○			確実に接続する	8 9
ガスの種類が違う			○	○	○	○	○	本体右側面の銘板を確認してください	3
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			○	○	○	○	○	不具合を除き再点火してください	8 9
ゴム管のひび割れ・穴あき				○	○			ゴム管を交換・先を切りつめる	5 8
設定室温表示ランプが「低温」側になっている					○		○	設定室温より室温が高いため「燃焼停止」になっている。設定室温表示ランプを「高温」側にする	11
換気が不十分である					○			30分に1回1分間程度換気する	7
フィルターがつまっている 吹出口に障害物がある			○	○	○	○	○	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください	19
点火(燃焼を開始)したばかりである				○				点火時、少し臭うことがあります	-
スパーク装置の故障(コード外れなど)		○	○					点検修理を依頼する	-
安全装置が作動した	○	○	○		○	○	○	点検修理を依頼する	16 17

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

次のような場合は故障ではありません

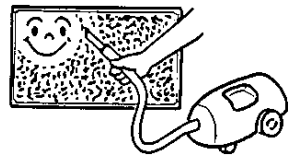
現象	説明
はじめて使うときに、器具から煙や臭いが出る。	はじめてお使いになるとき、器体に付着した油がこげて、煙やにおいが出る場合があります。しばらくすると自然になくなります。
着火したときに「ポッ」という音がある。	着火音で、異常ではありません。
点火・消火直後に「チリ、チリ」と1分間ほど音がする。	バーナが熱により、膨張・収縮するときの音ですから故障ではありません。
使用中に「シャー」と音がする。	これはガスの通過音で、異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしても、しばらく温風吹出口より風が出ている。	器具内の異常過熱を防止するために燃焼停止後、送風機をしばらく運転しています。内部が冷えると自動的に止まります。ファンが止まる時「コン」というスイッチの切れる音がしますがこれは故障ではありません。

長期間使用しない場合

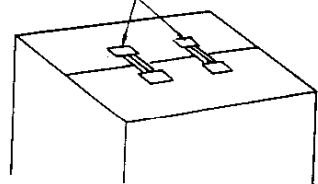
おしまいになるときは、次の要領で手入れをしてください。

- 電源プラグをコンセントより抜いてください。
- お部屋のガス元せんを閉め、ガスホースやガスコード、強化ガスホースをお部屋のガス元せんよりはずし、お部屋のガス接続口にキャップをかぶせてください。
- 特にガス通路部分に、ほこりが入って通路を詰まらせないように器具のガス接続口や、ガスコード、強化ガスホースの接続口には、必ずキャップをしてください。
- 温風吹出口と、エアフィルターや吸気フィルターのほこりを取り除いてください。
- お求めになったときの箱の中に正しく入れ、湿気の少ないところへ保管してください。保管場所は高温になる所や直射日光のあたる所はさけてください。(しまい方は、箱上面の折り返し部に表示してあります。)
- なお梱包の際は付属のバンドを右記の要領で使用してください。

エアフィルター



バンド



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……(ファンヒーター)
- (2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(N)43-728(U)

大阪ガス株式会社 00

- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道 順……(できるだけ詳しく)

点検整備のおすすめ

- 安全快適に、ご使用頂くために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買上げの店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにお申し付けください。

点検整備の内容は、機能部品の点検・確認及び清掃整備です。
この場合は有料となります。

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- 電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、調整または改造の必要があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

アフターサービスのお申し込み②

保証書について

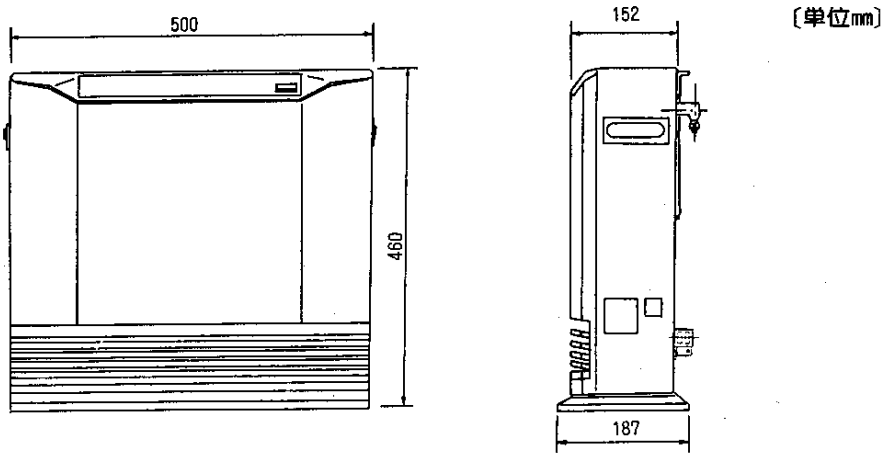
- この器具には保証書がついています。
このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。
- 2 比例制御の働きにより室温変化に応じて、燃焼量と風量を自動的にコントロールし、快適な暖房が得られます。
- 3 暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ（室温調節器）を備えたファンヒーターです。
- 4 プッシュスイッチ式のため、操作が簡単です。
- 5 換気不足や、フィルターほこりづまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。
- 6 スマートでデラックスなイメージのデザインです。
- 7 セーブ運転機能付きですので、維持費の低下がはかれます。
- 8 おはようデジタルタイマーにより、おめざめの前にお部屋を暖めることができます。
(43-928型・43-929型)
- 9 タイマー運転中、器具前方に障害物があると自動的に燃焼をストップさせる近接センサー付きです。(43-928型・43-929型のみ)

寸法図と仕様一覧表

寸法図



仕様一覧表

項目	43-728型				43-928型			
	GS-22ADFH				GS-22ATFH		GS-22ATFHZ	GS-22ATFH
	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス	都市ガス 6C	都市ガス 6A	都市ガス 13A	LPガス
ガス消費量(kcal/h)	2200	2200	2200	0.183kg/h	2200	2200	2200	0.183kg/h
暖房のめやす	6~9畳 (10~15㎡)							
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	460×500×152 (脚部分187)							
重量 (kg)	11							
電気消費量 (W)	30		35		33		36	
	(点火スイッチ「切」のとき:約5W)				(点火スイッチ「切」のとき:約6W)			
接続	ガス φ9.5mm ガス用ゴム管				3/8インチネジ		小口径迅速継手	3/8インチネジ
電気	交流100V、60Hz(電源コード長さ2m)							
燃烧方式	ブンゼン燃烧式							
給排气方式	開放式							
放热方式	強制対流式							
点火方式	交流電源連続放電点火式							
安全装置	<input type="checkbox"/> 消火センサー <input type="checkbox"/> 不完全燃烧防止装置 <input type="checkbox"/> 過熱防止装置(バイメタルスイッチ 温度ヒューズ) <input type="checkbox"/> 転倒時ガス遮断装置 <input type="checkbox"/> 電流ヒューズ <input type="checkbox"/> 停電安全装置 <input type="checkbox"/> ファンコントローラ <input type="checkbox"/> 逆火時安全装置							

寸法図と仕様一覧表②

項目	43-729型				43-929型			
	GS-30ADFH				GS-30ATFH	GS-30ATFHZ	GS-30ATFH	
	都市ガス 6C	都市ガス 6A	都市ガス 13A	LPガス	都市ガス 6C	都市ガス 6A	都市ガス	LPガス
ガス消費量(kcal/h)	3000	3000	3000	0.240kg/h	3000	3000	3000	0.240kg/h
暖房のめやす	8~12畳 (13~20㎡)							
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	460×500×152 (脚部分187)							
重量(kg)	11							
電気消費量(W)	33			37	36			38
	(点火スイッチ「切」のとき:約5W)				(点火スイッチ「切」のとき:約6W)			
接続	ガス #9.5mm ガス用ゴム管				3/8インチネジ	小口径迅速継手	3/8インチネジ	
電気	交流100V、60Hz(電源コード長さ2m)							
燃焼方式	ブンゼン燃焼式							
給排気方式	開放式							
放電方式	強制対流式							
点火方式	交流電源連続放電点火式							
安全装置	○消火センサー ○不完全燃焼防止装置 ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ 温度ヒューズ) ○転倒時ガス遮断装置 ○電流ヒューズ ○停電安全装置 ○ファンコントローラ ○逆火時安全装置							

おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル
サービスセンター ☎541 大阪市東区平野町5丁目1 ☎大阪 06 (202)2221

南支社 ☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 ☎大阪 06 (652)0001

北支社 ☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号 ☎大阪 06 (301)1251

堺支社 ☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19号 ☎堺 0722(38)1131

北摂支社 ☎569 高槻市藤の里町39番6号 ☎高槻 0726(71)0361

阪神支社 ☎662 西宮市和上町4番11号 ☎西宮 0798(26)3101

東部支社 ☎578 東大阪市稲葉2丁目3番17号 ☎河内 0729(62)1131

京阪支社 ☎573 枚方市西田宮町16番17号 ☎枚方 0720(41)1251

神戸支社 ☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 ☎神戸 078(576)5231

京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都 075(231)8151

奈良支社 ☎631 奈良市学園北2丁目4番1号 ☎奈良 0742(44)1111

和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1丁目1-1 ☎和歌山 0734(31)2481

姫路支社 ☎670 姫路市神屋町4丁目8 ☎姫路 0792(85)2221

東播支社 ☎675 加古川市加古川町粟津29-1 ☎加古川 0794(21)1801

豊岡支社 ☎688 豊岡市三坂町6丁目57番地 ☎豊岡 07962(3)2221

湖南支社 ☎525 草津市追分町字荒堀680の1 ☎草津 0775(62)5311

彦根支社 ☎522 彦根市大東町12番11号 ☎彦根 0749(22)3131

(長浜営業所) ☎526 長浜市南呉服町3番4号 ☎長浜 0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社